九州新幹線軌道敷設工事

早期完成へレール発進式

新幹線建設の最終段階に

九州新幹線鹿児島ルート・新八代－西鹿児島間の軌道敷設工事並びにレール発進式は25日、川内市城上町の現地で開かれ、工事関係者ら約100人が出席、工事の無事故無災害と早期完成を誓った。今回の軌道敷設着手により、鹿児島ルート建設工事は事実上最終段階に入った。

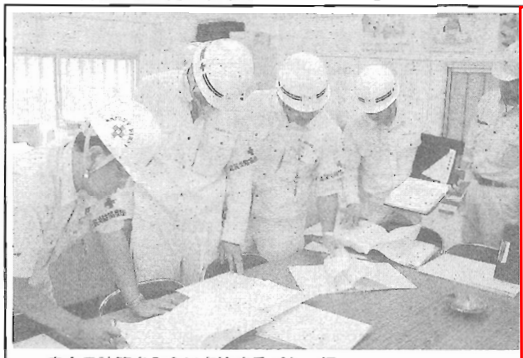
安全祈願祭では、日本鉄道建設公団九州新幹線建設局の田中健二局長、九州旅客鉄道㈱の田中浩治社長をはじめ、近隣市町長、施工業者の代表らが次々に玉串を捧げ、工事の無事故無災害を祈った。

場所を高架橋上部に移してのレール発進式では、機械に乗せたレールの送り出しが披露されると、出席者らから一斉に拍手が上がった。続いて、赤崎義則鹿児島市長が「今回の軌道敷設が始まることで、いよいよ新幹線建設工事の最終段階に入ります。これまで心血を注いでこられた関係者の方々には心から感謝申し上げます」と挨拶した後、工事の安全を祈念して金鍬で万歳三唱を行った。

同市内のホテル太陽パレスで行われた直会では、発注者を代表して田中局長が「工事も終盤に入り、開通がいよいよ現実のものとなってきた。平成15年末の完成に向けて、地元住民への配慮と安全な工事を進めて頂きたい」。また、来賓代表の小里貞利衆議は「九州に新幹線を開通させようと奮起して30年余り、ようやくここまでこぎ着けたという感じです。今後もさまざまな問題が山積しておりますが、郷土の経済浮揚の要とご理解頂き、なお一層のご協力をお願いしたい」と挨拶。これを受けて施工業者代表の坂本修一九鉄工業㈱社長が「軌道敷設工事は我々が最も得意とする工事ですが、事業の重大さと近隣住民への配慮を常に持ち続けながら、早期の完成に努めていきたい」と決意を述べた。

同工事の工事進捗は80%で、平成15年末の完成を予定。最終的には、出水駅－川内駅間（39㎞）、川内駅－西鹿児島間（34㎞）が一本のレールでつながる。施工は九鉄工業・広成建設・三戸建設JVが行う。

レール発進を祝いテープカットを行う関係者ら ＝川内市城上町の現地で



安全日誌等を入念に点検するパトー行 ＝鹿児島市上之園町の現場事務所で

県建設業協会、建災防合同安全パト

余裕ある安全対策を

鹿児島市、桜島町等8現場を診断

県建設業協会鹿児島支部（谷口也支部長）及び建災防鹿児島分会（同分会長）は27日、鹿児島市と鹿児島郡桜島町の現場8カ所で安全管理パトロールを実施し、現場ごとに安全管理対策の指導を行った。

当日は、鹿児島市の県建設センターに集合した一行を前に、川畑俊彦副支部長は「3大災害の防止をはじめ、多発する熱中症の予防対策を重点事項に掲げて教育指導を行ってほしい」と挨拶。続いて、末吉晴海労務委員長も「各現場の今後の安全管理対策につながるように徹底指導をお願いしたい」と呼びかけ、一行は中央・郡元、上町、桜島方面の3カ所に分かれて、それぞれの目的地に向かった。

このうち、中央・郡元方面のパトロールを行った1班は、鹿児島市道路建設課発注、徳澤建設㈱施工の「甲南線電線共同溝設置（その3）」を訪れ、安全管理や重機管理、安全日誌等を入念に点検した。その結果、書類作成等の確実な記入を確認。第3者被害防止対策では、ガードマン同士の適切な状況確認が実施されている事を高く評価した。

また、同市発注の㈱森山㈱組施工「唐湊橋橋梁整備（その1）」、森山土木㈱施工「宇宿広木線道路築造（その17）」の現場も診断。架け替え現場の唐湊橋では、計画に基づいた作業と、大型重機オペレーターの適切な安全確認などを高く評価。半面、主要アクセス道路の一部で交通量も非常に多いことを鑑み「交通誘導員を増員した余裕ある安全管理対策を」とアドバイスした。

県建設業協会大根占支部 技術者研修会

積算基準改正等学ぶ

約80人 確実な現場対応に向け

県建設業協会大根占支部（桑原景治支部長）の13年度建設技術者研修会はこの日、肝属郡大根占町の文化センターで開き、会員各社の現場代理人ら約80人が参加、公共工事適正化法、土木工事検査監査概要、工事施工における諸問題、13年度土木工事積算基準改正の4項目について、確実な現場対応に向け、熱心に勉強した。

研修会は県建設業協会の日高修一郎業務部次長の司会で進められ、4人の講師を紹介の後、県大根占土木事務所の中村季所長が「公共事業費が減り、コスト縮減が要求されている。経済効率だけがすべてではない。定住性が確保できるよう道路整備、地域づくりが必要である。この研修会で得た成果を参考にしながらこれからの競争社会に対応できるよう、技術力向上に努力して頂きたい」と挨拶。桑原支部長は「13、14年度予算をみると、10%削減のようだ。経営力イコール技術力。現場を預かる皆さんが経営者の立場に立って技術の研さんに努め、コスト縮減に反映させて頂きたい」と激励した。

このあと、大根占土木事務所の脇田政一河川港湾課長（技術）が「公共工事適正化法」と「土木工事請負必携改定一覧」について、川路芳郎港湾課技術主幹兼係長が「13年度土木工事積算基準の改正」について、それぞれのテキストをもとに講演した。

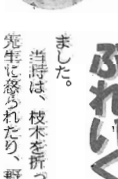
このうち、13年度土木工事標準歩掛の改正では、重建設機械分解組立てなど19工種（既存工種改正14工種、新規工種制定4工種、削除1工種）の歩掛を改正・制定。改正のうち、国土交通省と農林水産省の共同調査によって「機械土工」「鋼矢板（鋼型鋼）工」など7工種を改正。施工形態の変動への対応としては、重建設機械分解・組立てでトラッククレーンを使用するケースを改正。機械土工（ブルドーザーの作業能力）では普通型から汎用性の高い湿地型に改正。鋼矢板（日型鋼）－バイブロハンマ・油圧圧入引抜工では、N値50を境にしたNマックスの5区分を6区分に統合。消波工ではブロック重量を最大35・5トンから50トンに拡大している。また、歩掛の合理化では積算業務の簡素化に向けて日歩掛化、歩掛区分の統合や諸経費化等の見直しを行っている。この対象工種は「法面工（法面整形工）」、「路盤工」、「舗装版破砕（舗装版切断工含む）」など10工種。

同研修は3回の体験を挟んで午後4時半頃まで6時間をかけて行われ、参加者たちは最後まで真剣な表情でメモをとっていた。

競争社会に対応できるよう、技術力向上を――と挨拶する中村所長＝大根占町の文化センターで

何事も健康が一番

仮屋 克巳さん



加盛している伊集院町建友会のボランティア活動で、母校である郡立上橋小学校を訪れました。卒業して50年以上が経ち、校舎や体育館などすっかり様変わりしていました。

当時は、校木を折って先生に怒られたり、野山や竹林を駆け回ったりすが、校庭南東のイチョウの木は当時と変わりない風格漂う姿で迎えてくれました。

てい ぶれいく

（仮屋克巳建設社長）

電子納品媒体作成支援システム

〈工事完成図書版（建設CALS/EC対応）〉

電子納品では各種基準に従いファイルの作成、名称設定、管理情報作成など、複雑な作業が必要。

そこで、久永が提案する電子納品支援ツール！

国土交通省の各基準に準拠

「電納ヘルパー」／「Mr. CbTool」

◎9月5日ジェイドガーデンにてセミナー開催

建設CALS／EC どこまで変わる建設業

Hisanaga 株式会社 久永

Tel(099)258-3111 URL http://www.kk-hisanaga.com

事務手続代行

●建設業許可申請・変更届・資格審査
●会社設立
●諸官公庁提出書類作成代行

唐仁原行政書士事務所

事務所 鹿児島市真砂町86番3号 グリーンビル201号

☎(099) 256-2177 自宅229-1140

ゴルフ会員権と株券・即現金買取り

相場80% 融資OK!!

商業手形割引

資金業登録県知第(6)00077号

(社)鹿児島県貸金業会員85号

きりハウス(有)

鹿児島市下荒田4-8-16 ☎(099)252-5236